

2024 年度秋セメスター SECOND プログラム募集要項

INDEX

1. SECOND プログラムについて
2. プログラムの詳細
3. プログラムの申請と選考
4. プログラムに関わるスケジュール
5. 参加条件
6. 免責事項・注意事項
7. Q&A

1. SECOND プログラムについて

「SECOND(SElf CONFirmation and Development)」プログラムは、1-3 セメスター(国内学生・国際学生)を対象とし、10 日間にわたって東南アジアで調査活動を行うプログラムです。参加者は実習期間中、現地で指定された複数地点にグループごとに自力で移動します。積極的にコミュニケーションを図りながら現地調査と現地観察を行い、異文化体験から学ぶ力、異文化環境における協働力、困難な状況と向き合い、乗り越える力を高めます。さらに、東南アジアでの経験学習を踏まえて、自身の学修意欲の向上や継続的な学修分野との関連づけを目指します。

今回の渡航国は、マレーシアとタイの 2 か国とします。プログラムの学習目標は次のとおりです。

- ① 異文化における集中的なグループワークおよび調査活動を通して、日本語および英語によるコミュニケーションスキルとチームビルディング力を実践することができる。
- ② 自律的かつ責任をもって行動することができる。
- ③ 異文化を通じた体験から意図的に学ぶことができる。
- ④ 異文化に対する感受性を発揮しながら、異文化体験におけるストレスを受け止めて、乗り越えようすることができる。

2. プログラムの詳細

2024 年秋セメスターの SECOND プログラムは以下の内容で実施されます。

科目名	異文化フィールドワークⅡ
担当教員	筆内 美砂 助教 (EDLSC)
実施形態	事前・事後授業・海外実習・帰国後セッション
実習期間	2025 年 2 月 26 日(水)～3 月 6 日(木) ※クアラルンプール集合日時:2025 年 2 月 25 日(火) 16:00 (MYT) ※実習だけでなくガイダンスと事前授業を含めた全日程への参加が必須です。
履修登録	2024 年度秋セメスター科目として大学が自動登録
単 位	2 単位(2024 年度秋セメスターの履修科目登録上限単位数には含まれません)
成 績	通常の評価(A+, A, B, C/F) 科目登録/成績付与されるセメスター: 2024 年度秋セメスター 成績発表: 2025 年度春セメスター(4 月上旬)(予定) 成績問い合わせ: 2025 年度春セメスター科目 成績問い合わせ期間
開講言語	E/J
派遣人数	30 名(最少 5 名)

3. プログラムの申請と選考

申請書類に不備がある場合は、選考対象となりませんので注意してください。

申請資格	申請時点において、次の要件を満たす学生。 ● 1-3 セメスター生であること(国内生・国際生) ● 申請時点で 2 セメスター生以上の場合は、前セメスター修了時まで以下の単位数を修得していること 2 セメスター生: 14 単位以上、3 セメスター生: 28 単位以上 ● 2024 年度秋セメスターに通常在籍していること ● 2024 年度秋セメスターに在籍状態が「留学」や「休学」ではないこと
申請書類	オンライン申請フォーム(申請期間のみオープン) https://forms.office.com/r/SSgvGjVS3K ※以下が必要になりますのでフォームの内容を確認し、準備の上申請してください。 ● 志望理由と大学生活での目標に関するエッセイ ● パスポート情報(申請時点では、未所持/未更新でも申請可) ● 保証人情報(氏名、電話番号、住所)
申請期間	2024 年 10 月 9 日(水)~10 月 23 日(水)14:00 締切
募集 ガイダンス	日時: 2024 年 10 月 9 日(水) 14:20-15:20 会場: 後日更新(キャンパスにて対面で実施)
選考	志望理由を重視した書類審査により選考を行います。 必要に応じて面接を行う場合があります。
選考結果 発表	2024 年 11 月 6 日(水)中に Campus Terminal の【あなた宛の重要なお知らせ】にて通知します。



4. プログラムに関わるスケジュール

以下の予定は、**全て参加必須**です。無断欠席は認めません。

※オンラインと記載のあるもの以外は、全て対面で実施します。

※対面セッションの教室、オンラインセッションの Zoom MTG ID は、実施日前に通知します。対面の場合オンライン配信は行いません。

日時	内容	詳細
2024 年		
11/13(水)5,6 限	受講者ガイダンス	ガイダンス、保険、予防接種についての説明
11/14(木) 14:00	プログラム費用支払、誓約書提出〆切	※プログラム費用の支払い先、誓約書の提出方法 詳細は、選考結果発表時に案内 ※期限に遅れた場合は、いかなる理由でも合格が取り消されます。
12/11(水) 14:00	プログラム参加手続き提出物〆切	※詳細は受講者ガイダンスで案内 ※期限までに提出できていないものがあつた場合は、いかなる理由でも合格が取り消されます。
12/11(水) 5, 6 限	事前授業1・2	オリエンテーション、学びの目標設定、異文化感受性と異文化理解の基本
2025 年		
1/8(水) 14:00	海外旅行保険料支払〆切	※詳細は受講者ガイダンスで案内 ※期限までに提出できていないものがあつた場合は、いかなる理由でも合格が取り消されます。

1/8(水) 5, 6 限	事前授業 3・4	調査トピック、問い、調査方法の検討
1/15(水) 5 限	事前授業 5	調査準備、進捗報告
1/22(水)5 限 ※オンライン	危機管理ガイダンス	危機管理ガイダンス
1/22(水)6 限	出発前ガイダンス	保険証券等配布、持ち物確認、体調管理、入国カード手続き等
2/20(木)2 限 ※オンライン	事前授業 6	目標の振り返りと自己評価、調査内容の確定
2/26(水)～3/6(木)	現地実習	フィールドワーク、タイ校友交流会、振り返りディスカッション、ミニ・プロジェクトプレゼンテーション
	事後授業	調査結果についての最終グループプレゼンテーション、全体総括振り返り
5 月～6 月(任意参加)	帰国後セッション	学びの振り返り、今後の目標と計画

◎現地実習行程(予定)

日程	内容
0 日目 (2/25)	集合日時:2025 年 2 月 25 日(火)16:00 (MYT) 集合場所:クアラルンプール市内、グループごとに手配したホテル集合
1 日目 (2/26)	授業(対面)、クアラルンプールより A 地点へ移動<陸路>、地点 A 泊
2 日目 (2/27)	地点 A で調査活動、地点 A 泊
3 日目 (2/28)	地点 A よりペナンへ移動<陸路>、授業(対面)、ペナン泊
4 日目 (3/1)	午前 授業(オンライン) 午後 ペナンよりバンコクへ移動<空路> ※全員で移動 バンコク在住校友と懇談会、バンコク泊
5 日目 (3/2)	バンコクから調査地点 B へ移動<陸路>、到着後、調査活動、地点 B 泊
6 日目 (3/3)	地点 B で調査活動、地点 B 泊
7 日目 (3/4)	地点 B よりバンコクへ移動<陸路> 授業(オンライン)、バンコク泊
8 日目 (3/5)	発表準備、バンコク泊
9 日目 (3/6)	授業(対面)15:00 頃終了予定 ※現地解散

*以下の手配は、参加者自らが行う必要があります。詳細は受講決定後のガイダンスや事前授業で案内します。

- 集合日クアラルンプールまでの移動、最終日バンコクからの移動(海外航空券)
- 調査活動に伴う現地の移動
- 現地宿泊施設

5. 参加条件

(1)経費 プログラム受講には、プログラムに要する費用を支払う必要があります。

プログラム参加費用	約 55,000 円(正確な金額は合格発表時に通知します)
支払期限	2024 年 11 月 14 日(木)14:00
※支払方法は、合格発表時に通知します。	

◎プログラム費用の内容は以下のとおりです。

プログラム参加費用に含まれるもの	プログラムに要する費用に含まれないもの (自己負担するもの)
● 実習費 ● ペナン - バンコク間航空券 ● 通信費(各グループに1枚SIMカード配布) ● 危機管理システム加入料	● 国際航空券を含む、左記「ペナン - バンコク間航空券」以外の交通費 ● 実習中の宿泊費 ● 海外旅行保険 ● 食費、個人的な費用等 ● 調査活動に関わる備品、コピー代等 ● 査証(ビザ)取得費用(必要な場合) ● 予防接種費用(任意) * その他追加発生する費用は自己負担となります。

(2)受講において必要な手続き等

現地集合、現地解散に関わって

- ・ 現地集合場所まで、及び、現地解散後の交通(宿泊)手配は、各自で行います。
- ・ 現地集合場所・日時は「[4.プログラムに関わるスケジュール](#)」に記載の通りです。
- ・ 定められた集合場所に指定の日時までに到着できるように、各自の責任で航空券等の交通手段を手配・購入してください。
- ・ 出国から帰国までの経路に[外務省の危険レベル 2 以上の国・地域](#)を含む場合、Off-campus Programs に参加できません。

パスポート

- ・ 有効なパスポートを所持していない場合は速やかに取得の手続きを開始し、2024 年 12 月 11 日(水)14:00 までにパスポート画像を提出できるよう準備してください。
- ・ パスポート手配は受講者本人が責任をもって行なうものとし、期限までに取得できない場合は受講資格を取り消します。
- ・ パスポートの残存有効期間が、渡航国ごとに定められた期間に満たない場合は、入国できません。各自確認のうえ、早めに更新を行ってください。

査証(ビザ)

- ・ 各自で事前に出国から帰国までの経路国におけるビザの要・不要を確認し、時間に余裕をもって手続きをしてください。
- ・ ビザ取得は参加者個人が責任をもって行なうものとし、取得できない場合は受講資格を取り消します。
- ・ 再入国許可が必要な国際学生は、忘れずに取得してください。

保険

- ・ 個人で既に参加している場合も含め、APU が指定する海外旅行傷害保険および危機管理システムへの加入が必要です。
- ・ 保険加入期間は、プログラム期間にかかわらず日本出国日から日本帰国日の全ての日数を含めなければいけません。保険料は海外渡航日程に基づき計算されますが、およその価格は以下の通りです。

渡航日数	海外旅行保険料	危機管理システム料
7 日まで	7,500 円程度	1,870 円
14 日まで	12,000 円程度	1,870 円
21 日まで	15,000 円程度	1,870 円
34 日まで	17,000 円程度	3,740 円

(参照)海外旅行保険料URL: <https://www.creohuman.co.jp/business/travel-ins/>

- ・ 詳細は受講者ガイダンスで案内します。

誓約書

- ・ 本プログラムを受講するにあたり、受講者は大学への「[立命館アジア太平洋大学 Off-campus Programs に参加するにあたっての遵守事項](#)」の提出が義務づけられています。受講者は予め遵守事項を確認し、同意の上プログラムに申請してください。
- ・ 誓約書の提出方法等詳細は、選考に合格した学生へ案内します。

予防接種

- ・ 受講者ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類、推奨レベルを案内します。
- ・ 予防接種は必須ではないので、推奨レベル等の情報に基づき、接種するかどうか各自判断してください。
- ・ 接種を希望する場合は、各自ヘルスクリニックで病院予約の手続きを行ってください。

プログラムに係る各種提出物・プログラム費用の締切りについて

- ・ 短期 Off-campus Programs の受講が決定した場合、プログラム毎に提出物(誓約書、各種サーベイ等、各プログラムで提出必須と定めているもの)やプログラム費用の支払いについてアウトリーチ・リサーチ・オフィスより案内を行います。
- ・ **参加に必要な提出物・プログラム費等(パスポートや査証の取得・費用支払い・保険加入・大学及び実習先から指定された書類等)の納付・提出は責任をもって指定期日までに行わなければなりません。指定期日までに提出物の提出・プログラム費等の納付が完了しなかった場合、いかなる理由であってもプログラムの参加が取り消されます。**
- ・ **締切期日までの提出物提出・プログラム費納付の未完了により、プログラムへの参加ができなくなった場合、その時点までに発生した費用を支払わなければなりません。**

参加取消・辞退について

- ・ 上記の通り、パスポート画像の提出、ビザの取得(必要な場合)、その他提出物提出やプログラム費用等の納付を指定期日までに行わなかった場合、プログラムへの参加は取消となります。
- ・ 申込後の辞退は原則として認めません。
- ・ やむを得ない理由であっても、参加決定後の取消・辞退については、その時点までに発生した費用を支払わなければなりません。
- ・ 参加を取り消された場合または辞退した場合、原則として成績は「F」評価となります。

6. 免責事項・注意事項

(1) Off-campus Programs 参加における注意事項

別紙「[遵守事項](#)」を必ず確認してください。

(2) 派遣中止について

- ・ 感染症の蔓延、社会情勢、派遣先の都合等の状況によっては、派遣中止判断を行う可能性があります。
(添付)[遵守事項「5.経費および補償に関する事項」](#)参照)
- ・ プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、その時点までに発生した費用を支払うこと。

(3) 実習中の危機管理・健康確認

マスク着用は個人の判断に委ねますが、派遣先によって着用が求められる場合には、その指示に従う必要があります。また、派遣中は日常と異なる環境下で、宿泊を伴う学修を進めることになります。よって、コロナ禍と同様に留意をしながら、危機管理、健康管理は自身の責任下で努めるようにしてください。

(4)姿勢

- ・プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、受講者自身の姿勢や努力が大きく左右します。海外で異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの参加目的をしっかりと定めてください。なお、派遣前後に行う事前授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。無断欠席をした場合は、参加取り消しや「F」評価になる可能性があります。
- ・書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。また、プログラム参加中は大学が定めたルールを守らなければなりません。大学が定めたルールとは、別途「[遵守事項](#)」の他、飲酒、自動車・バイク運転、レジャースポーツの禁止があります。また、宿泊先では、宿泊施設の規則や指示に従ってください。

7. Q&A

- ・2024 年秋セメスターは上限単位数まで登録しているので、申請できないですか。
→ 本プログラムで付与される単位は履修科目登録上限単位数には含みませんので、申請可能です。

8. 問い合わせ先

部署: アウトリーチ・リサーチ・オフィス(A棟2階)
担当者: 溝部、NGUYEN、井戸沼、鏡
Email: first@apu.ac.jp

2024 年度 立命館アジア太平洋大学 Off-campus Programs に 参加するにあたっての遵守事項

立命館アジア太平洋大学 Off-campus Programs(以下「プログラム」という。)に参加する学生は、次の事項を遵守しなければならない。

1. 基本姿勢

- (1) プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならないこと。
- (2) 立命館アジア太平洋大学(以下「本学」という。)の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関(以下「派遣先」という。)の名誉を傷つける行動は慎まなければならないこと。
- (3) プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならないこと。
- (4) 派遣前後に行う事前/事後授業やガイダンスは必ず出席しなければならないこと。
- (5) プログラム申請をした時点で受講の意思があるものとして選考をされているため、選考結果発表後の辞退は認められないこと。
- (6) 遵守事項に反する事態を生じさせた場合は、本プログラムへの参加取消または帰国措置を命じられても、異議を申し立ててはならないこと。

2. 参加の取消・派遣の中止に関する事項

- (1) [全派遣プログラム(交換留学・ダブルディグリープログラム・キャンパスアジアプログラム・短期サマー/ウインタープログラム除く)]
参加に必要な提出物の提出、プログラム費の納付、パスポートおよび査証(ビザ)の取得、保険の加入等必要な手続きは本人が責任をもって指定期日までに行わなければならないこと。指定期日までに提出物の提出、プログラム費の納付、パスポートおよび査証(ビザ)の取得、保険の加入等必要手続きが完了しなかった場合は、いかなる理由であってもプログラムの参加が取り消されることを了承する。
- (2) [交換留学・ダブルディグリープログラム・キャンパスアジアプログラム・短期サマー/ウインタープログラム]
参加に必要な提出物の提出、プログラム費の納付、パスポートおよび査証(ビザ)の取得、保険の加入等必要な手続きは本人が責任をもって指定期日までに行わなければならないこと。指定期日までに提出物の提出、プログラム費の納付、パスポートおよび査証(ビザ)の取得、保険の加入等必要手続きが完了しなかった場合、参加取り消しをされる場合があることを了承する。
- (3) 上記に加え、以下のいずれかに該当する場合、合格発表後であっても、参加者のプログラム参加が取り消されることがあること。
 - A) 参加態度、出席状況等を勘案し、受講不適当と判断された場合
 - B) 選考結果発表後、懲戒処分の対象となった場合
 - C) 負傷、病気等で留学が適当でないと本学が判断した場合
 - D) プログラム期間中の禁止行為を行った場合
 - E) プログラム所定の継続条件を満たさなかった場合
 - F) 学籍を喪失した場合
 - G) その他学生としての本分に反した場合
- (4) 参加を取り消された場合、成績は「F」評価となる。(事前授業が開始される前に参加を取り消された場合は、「履修取消」となる)ことを了承する。ただし、交換留学、ダブルディグリープログラム、キャンパスアジアプログラムおよび短期サマー/ウインタープログラム除く。
- (5) 次に当てはまる場合は、本学の判断により学生派遣が中止されることを了承する。
 - A) 派遣先国・地域についての外務省の危険情報がレベル2以上である場合。ただし、新たな感染症の蔓延等により、感染症危険情報が発令された場合は、状況に応じて判断する。
 - B) 実習先での天災、災害、ストライキ、伝染病、現地情勢の変化、交通機関の運航状況、現地医療状況、戦争、テロ、引率者の怪我や急病及びそれに類する事象、危機発生時の派遣先機関における派遣学生への支援内容その他不可抗力に起因する事態が発生した場合。
 - C) 派遣先が、渡航を伴う APU からの学生受入中止を判断した場合

3. プログラム実施場所への集合・解散に関わる事項

[全海外派遣プログラム(FIRST、サービスマーケティングを除く)]

- (1) プログラム期間中は現地集合および現地解散となることを了承し、行程中の安全確保も含め自己責任で行動すること。
- (2) 学生本人が航空券の手配を行い、本学が指定する期日までに旅程の提出を行うこと。
- (3) 予め本学に提出した旅程を理由なく変更しないこと。変更した場合は、変更した旅程を本学に提出すること。
- (4) プログラム参加のための渡航期間以外での行動は本学の責任ではなく、すべて参加者本人の責任において行動すること。

[FIRST、サービスマーケティング]

- (1) プログラムは現地集合および解散は認められず、プログラム実施期間前に個人で入国してはならないこと。
- (2) プログラム実施期間終了後は、速やかに帰国しなければならないこと。派遣先国の滞在期間延長は、認められない。

4. 健康・安全管理に関する事項

- (1) [全海外派遣プログラム(FIRST、サービスマーケティングを除く)] 渡航前に、日本出国および日本帰国までのすべての渡航期間について、本学が指定する海外旅行傷害保険に加入すること。また、本学が指定する期間について、危機管理支援システムに加入すること。
[FIRST、サービスマーケティング] 渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険および危機管理支援システムに加入すること。
[国内プログラムの場合] 本学が指定する国内旅行傷害保険へ加入すること。
- (2) 健康管理は、自らの責任で行うこと。また、健康状況および学修支援の要否を所定の書式にて申告すること。
- (3) 既往症等がある場合は、申し出ること。
- (4) 傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。

ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。

- (5) 緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、本学もしくは派遣先の教職員または医師の判断によって処置することに同意すること。
- (6) 本学もしくは派遣先の教職員によって医療行為が必要と判断された状況下で、自らの意思で受診をしなかった場合、如何なる問題が起きたとしても本学、派遣先はその責任を負わないこと。
- (7) 予防接種について、本学から推奨された予防接種を希望する場合、各自ヘルスクリニックで病院予約の手続きを行うこと。予防接種が必須の場合、ガイダンスでの指示に従うこと。

5. 経費および補償に関する事項

- (1) 締切期日までの提出物提出またはプログラム費納付の未完了、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへの参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、その時点までに発生した費用を支払うこと。
- (2) 天災、災害、ストライキ、伝染病、現地情勢の変化、交通機関の運航状況、現地医療状況、戦争、テロ、引率者の怪我や急病及びそれに類する事象その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、その時点までに発生した費用を支払うこと。
- (3) プログラムに要する費用を本学に納入済みの場合、派遣中止、参加取消または辞退までに発生した費用を差し引いた差額が返金されることを了承すること。また、返金手続きには一定期間を要することを了承すること。
- (4) 本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
- (5) 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等が本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。
- (6) 本人の故意または過失により、第三者または本学に損害を与えた場合は、賠償の責を負わなければならないこと。
- (7) プログラムの実習期間中に、本学、派遣先以外の第三者団体、個人、ホームステイ先等による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならない、本学および派遣先はその責任を負わないこと。

6. 査証(ビザ)取得に関する事項

- (1) 出発から帰国までに必要となる査証(ビザ)を確認の上、学生本人の責任で申請すること。
- (2) 必要となる査証(ビザ)は、本人の国籍や派遣国・地域、滞在期間などによって異なるため、必要となる査証(ビザ)(トランジットビザを含む)および必要書類等は、各大使館のホームページ等で各自確認すること。
- (3) 査証(ビザ)申請要件は予告無しに変更される場合があるため、最新情報を入手すること。オンアライバルビザ(On-arrival Visa)での参加は、査証(ビザ)発給国の定めにより渡航前に査証(ビザ)を取得できない場合以外は認められない。
- (4) 万一、査証(ビザ)が取得できない場合は、派遣または留学は取り消しとなること。また、査証(ビザ)が取得できなかったことを理由として、派遣または留学開始時期の変更等は行わない。
- (5) [国際学生のみ]プログラム実施国の査証(ビザ)以外に、日本の在留許可期限および再入国許可の条件を確認すること。

7. 履修計画について

- (1) プログラム応募に際して、履修科目および修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認すること。
- (2) 卒業までの履修に関わって問題が判明した場合に本学は特別な配慮等は行わないため、自己責任において応募を行うこと。

8. 誓約書の提出

上記事項を理解し、本人および保証人による誓約書を提出すること。

誓 約 書

私は、下記プログラムに参加するにあたり、募集要項、シラバス(交換留学・ダブルディグリープログラム・キャンパスアジアプログラム・短期サマー/ウインタープログラム除く)および別紙の遵守事項を理解し、各事項を厳守し、誠実に履行することを、ここに誓約します。申請書やその他提出書類に記載した個人情報(氏名、性別、生年月日、その他本プログラムに係り大学へ提供した情報)は、プログラム参加手続および本学が管理・運営に関する業務の目的のために、本学内で使用されること、また、第三者(派遣先大学・機関、旅行代理店、査証取得代行会社、保険会社、危機管理サポート会社、宿泊施設、関係国(日本、参加学生の母国、派遣国)の在外公館及び政府機関)に提供されることに同意します。

本人記入欄

日付 _____

学生本人署名 _____ ※「描画」で署名して下さい(タイプ入力不可)

学籍番号 _____

参加プログラム _____ (派遣先大学・機関: _____)

所属 _____ (APM / APS / ST / GSM)

回生 _____ (1 / 2 / 3 / 4 / その他)

郵便番号 〒 _____

住所 _____
※入力した内容が正しいかを再度ご確認ください

保証人記入欄 ※保証人欄は、父母・身元引受者が記載してください。

■私は、募集要項、シラバス(交換留学・ダブルディグリープログラム・キャンパスアジアプログラム・短期サマー/ウインタープログラム除く)および別紙の遵守事項を本人に遵守させるとともに、これに反することによって生じた一切の事項について責任を持つこととします。また、プログラム参加において本人が負担する一切の債務については、プログラムに要する費用を限度額として保証いたします。

日付 _____

保証人署名 _____ ※「描画」で署名して下さい(タイプ入力、本人による代筆不可)

郵便番号 〒 _____

住所 _____
※入力した内容が正しいかを再度ご確認ください

電話番号 _____

本人との関係 _____

【以下のいずれかに該当する場合、保証は無効であるため、プログラム参加によって生じる一切の債務は、学生自身が負担することとなります】

- ・ 本人または保証人の署名がそれぞれの当人による直筆でない場合、または、両人の記入欄における筆跡が同一人物のものであると判断される場合
- ・ 友人や知人などが保証人になっているなど、その保証能力に欠けると本学が判断する場合
- ・ 記入欄に未記入箇所がある場合
- ・ その他、内容について虚偽の疑いがある場合